



ご自宅にお祝いに訪れた翁長市長と独特のユーモアも交えて対談。貴重なエピソードも拝聴できました

現在、島袋さんご自身が指導者になられて「今の若い人は、学問もしていますし、頭も良いですから、理屈っぽくなっていますよ」と、お弟子さんを指導していく難しさを感じているようです。

指導者としての島袋さんは「頭はともやわらかい方ですが、岩のような硬い意志をもっている方です」と答えるお弟子さん。

おけいこ中、「なんでだろう」と手を交差しながら指導する、楽しい一面も拝見することができました。

島袋光史さん 人間国宝に 「組踊音楽太鼓」保持者として重要無形文化財に認定

島袋光史さん(83歳・那覇市久米)が国の重要無形文化財「組踊音楽太鼓」の保持者として認定されました。「組踊音楽太鼓」は、沖縄独自の伝統芸能である組踊のなかで、動作のきつかけや感情・情景を音で表現します。

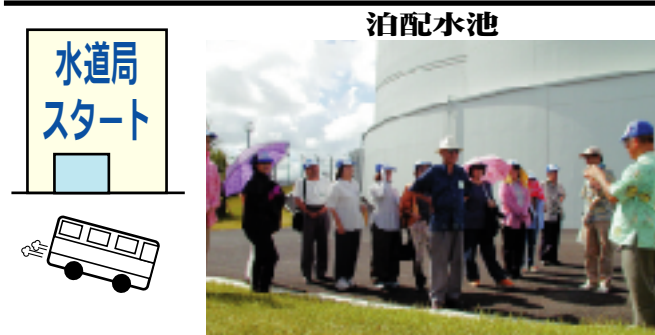
島袋さんが、本格的に太鼓をはじめたのは、戦後の1947年ごろ。戦地から帰還した島袋さんは、父・光祐さんが団長をつとめる、沖縄民政府直営の松劇団(戦後の住民慰安が目的につくられた3劇団の1つ)の事務員の仕事に就き、そこで事務を行う傍ら、太鼓を打つお手伝いをしたことがきっかけです。

太鼓をはじめた当時は、単に伴奏楽器のひとつとして、誰にでも打てるものだと思われていました。太鼓が主体となり大勢で演奏する、見て聴いて楽しむ音にしたい思いで、一心に今日まで続けてきたそうです。

島袋さんが50歳になられた頃、組踊界の重鎮、真境名由康先生に舞台の上で、きびしく注意されたことがありました。「私は、あの日以来、芸能というものに目覚めさせられました」という島袋さん。そのときに初めて、先代から伝承されている「型」があることを知り、真境名先生から教わることでできました。先生は、太鼓の先生ではなかったのですが、当時は小さい頃に小間使いとして、かならず太鼓打ちから始めたそうです。真境名先生だけではなく、この環境に育った人はみんな、太鼓を打てることができたそうです。



目を閉じて、若いお弟子さんたちの太鼓の音に耳を傾ける島袋さん。その厳しい表情にけいこ場の緊張感が高まります



泊配水池

今年3月に完成したばかりの泊配水池は、約6万人の市民のみなさんに給水できる県内最大の配水池です。



北谷浄水場

倉敷ダムや嘉手納井戸群、比謝川、天願川などを水源に、生物処理やオゾン処理、活性炭処理など高度な浄水施設を取り入れることで安全に利用できる水になります。

水道モニター施設見学



倉敷ダム



海水淡水化施設

集中監視センター



市内のポンプ場や配水池など水道施設全体の水の流れを監視する集中監視センターでは、自分が住んでいる地域の水源を知ることができました。

モニターのみなさん
お疲れさまでした



水道局では毎年、市民のみなさんに水道モニターになっていただき、水道に関する意見や提案を募集し、水道サービスの向上と効率的な運営に役立てています。

水道モニターは、今年の6月から10か月の任期中に会議や水道施設見学に参加し、アンケートに答えていきます。

7月11日(金)に行われた「水道施設見学」では、家庭の蛇口にいちばん身近な泊配水池をスタートし、北谷浄水場と海水を真水に変える海水淡水化施設、倉敷ダムへと水道水が誕生する過程をさかのぼって見学しました。モニターのみなさんは、さまざまな工程を経て処理される水を見て、水資源の大切さとその重要性を再認識しました。

(水道局企画経営課 ☎8324173)

いちばん身近な水道水にとっても興味があつて参加しました。

印象的だった施設は、北谷浄水場ですが、とくに海水淡水化施設は素晴らしい、びっくりしました。

水道モニターをおしてもっと勉強していきたいと思っています。



宇田原 上江洲 富男さん



首里大中町 山田早知子さん

スーパで山のようにペットボトルの水が売られている状況を見て水道水が、どのような状況になっているのか知りたくて応募しました。

今回の施設見学では、中南部に水を供給している北谷浄水場が思ったより小さいのではないかなと感じました。

国民年金標語コンクール作品募集

作品テーマ
●国民年金保険料の納付意欲を高めるもの
●年金が果たす生活保障についてイメージされるもの
●若年世代に、年金制度に対する不安・不信感を払拭させるもの

応募方法
官製ハガキに、作品・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入の上、応募してください。(1人3作品まで)

応募締め切り 9月30日(火)必着
発表 最優秀賞(1名)・優秀賞(2名)には、10月末頃通知し、表彰します。副賞として図書券及びサンセット美浜(沖縄国民年金健康センター)の宿泊券を差し上げます。

その他 作品の著作権は主催者に帰属します。
応募先 那覇市旭町114-4
(おきでん那覇ビル8F)
沖縄社会保険事務局年金課
国民年金標語コンクール係まで
☎941-0734

お問い合わせ
国民年金課 ☎861-6901



試験案内・申込書の配布、及び申込受付先

那覇市役所 人事課 本庁4階 ☎861-7499

採用予定数 若干名

第一次試験日 平成15年9月21日(日)

申込受付期間 平成15年8月4日(月)～8月15日(金)
(土日を除く午前8時30分～午後5時)

※その他詳しくは試験案内をご覧ください。

身体障害者を対象とした那覇市職員採用選考試験公告

職種 行政職

受験資格

自力で通勤ができ、かつ、介護者なしに職務遂行が可能な方で、次の①から⑤までのすべてに該当する方

①身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から4級までの方

②昭和46年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方

③学校教育法による高等学校又は養護学校高等部を卒業もしくは平成16年3月末日までに卒業見込みの方

④活字印刷文による出題に対応でき、かつ、口頭による面接試験に対応できる方

⑤平成15年7月1日現在、那覇市の住民基本台帳に登録され、引き続き市内に住所を有する方又は、平成15年7月1日以前から引き続き那覇市に本籍を有する方

那覇市職員採用候補者試験公告

職種 (試験区分)

行政職Ⅰ(上級行政・中級行政・初級行政・行政職Ⅱ・上級建築職・上級電気職・上級機械職・上級化学職・保育士職・消防職Ⅰ(上級消防・中級消防・初級消防A(男性)・初級消防B(女性)・消防職Ⅱ・看護師職)

受験資格 各職種(試験区分)別に資格要件があります。

採用予定数 各職種 若干名

第一次試験日 平成15年9月21日(日)

申込受付期間 平成15年8月4日(月)～8月15日(金)
(土日を除く午前8時30分～午後5時)

※その他詳しくは試験案内をご覧ください。

試験案内・申込書の配布、及び申込受付先

那覇市役所 人事課 本庁4階 ☎861-7499